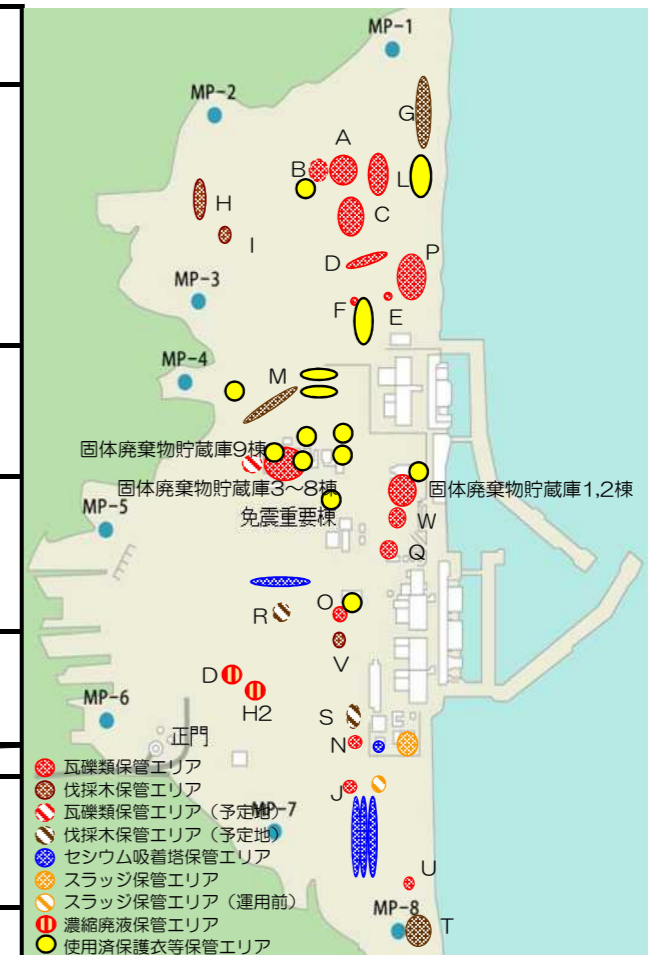


瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2016.7.31 時点)

分類	保管場所	保管方法	エリア境界 空間線量率 (mSv/h)	保管量*1	前回報告比*2 (2016.6.30)	変動*3 理由	エリア 占有率	保管量/保管容量 (割合)	トピックス	
瓦礫類 屋外集積 (0.1mSv/h以下)	B	屋外集積	0.01	1,200 m ³	+900 m ³	①	35%	127200 / 181200 (70%)	<ul style="list-style-type: none"> エリアCの破碎コンクリートの再利用実施。 フランジタンク解体片 エリアPにて一時保管中。(2015年6月15日~) 2016年7月末時点で275基(コンテナ)保管。 エリアPの瓦礫類について、リスク低減の観点から容器収納へ移行中。 	
	C	屋外集積	0.01未満	55,300 m ³	-1,100 m ³	②③④⑤	87%			
	F	屋外集積	0.01未満	5,900 m ³	微増	—	79%			
	J	屋外集積	0.02	4,300 m ³	0 m ³	—	89%			
	N	屋外集積	0.01	4,500 m ³	0 m ³	—	45%			
	O	屋外集積	0.01	26,200 m ³	0 m ³	—	95%			
	P	屋外集積	0.01	29,100 m ³	+700 m ³	③	45%			
瓦礫類 シート養生 (0.1~1mSv/h)	D	シート養生	0.01	2,600 m ³	0 m ³	—	88%	36200 / 57300 (63%)	<ul style="list-style-type: none"> エリアE、エリアPの瓦礫類について、リスク低減の観点から容器収納へ移行中。 	
	E	シート養生	0.02	7,000 m ³	+500 m ³	⑤⑥	44%			
	P	シート養生	0.01	5,600 m ³	0 m ³	—	63%			
	W	シート養生	0.02	21,000 m ³	0 m ³	—	72%			
瓦礫類 覆土式一時保管施設、 仮設保管設備、容器 (1~30mSv/h)	L	覆土式一時保管施設	0.01未満	12,000 m ³	0 m ³	—	100%	20500 / 27700 (74%)	<ul style="list-style-type: none"> 覆土式一時保管施設(第3槽) 瓦礫類収納完了: 2015年8月21日 仮覆土: 2015年10月26日完了 	
	A	仮設保管設備	0.32	1,900 m ³	+100 m ³	⑥	26%			
	E	容器*4	0.02	300 m ³	0 m ³	—	19%			
	F	容器	0.01未満	600 m ³	0 m ³	—	99%			
瓦礫類 固体廃棄物貯蔵庫	固体廃棄物貯蔵庫	容器*4	0.02	7,300 m ³	+300 m ³	⑥⑦	61%	7300 / 12000 (61%)	<ul style="list-style-type: none"> 主な瓦礫類は、1~3号機建屋で発生した高線量瓦礫類。 	
	合計(カレキ)			191,200 m ³	+1,200 m ³	—	69%			
伐採木 屋外集積 (幹・根・枝・葉)	H	屋外集積	0.01未満	14,700 m ³	0 m ³	—	74%	70000 / 81500 (86%)	<ul style="list-style-type: none"> 工事により発生した幹・根を随時受入中。 	
	I	屋外集積	0.01	10,500 m ³	0 m ³	—	100%			
	M	屋外集積	0.01未満	39,300 m ³	微増	—	87%			
	一時保管槽 (枝・葉)	V	屋外集積	0.03	5,500 m ³	+2,200 m ³	⑧	92%		19600 / 24900 (79%)
		G	伐採木一時保管槽	0.01未満	8,500 m ³	0 m ³	—	65%		
伐採木 一時保管槽 (枝・葉)	T	伐採木一時保管槽	0.01未満	11,100 m ³	0 m ³	—	94%			
	合計(伐採木)			89,700 m ³	+2,300 m ³	—	84%			
保護衣 屋外集積	容器	容器	0.02	66,100 m ³	+600 m ³	⑨⑩	93%	66100 / 71200 (93%)	<ul style="list-style-type: none"> 雑固体焼却設備の運用開始(2016年3月18日) 使用済保護衣等焼却量 739t(2016年7月末累積) 焼却灰のドラム缶数 80本(2016年7月末累積) 	
	合計(使用済保護衣等)			66,100 m ³	+600 m ³	—	93%			

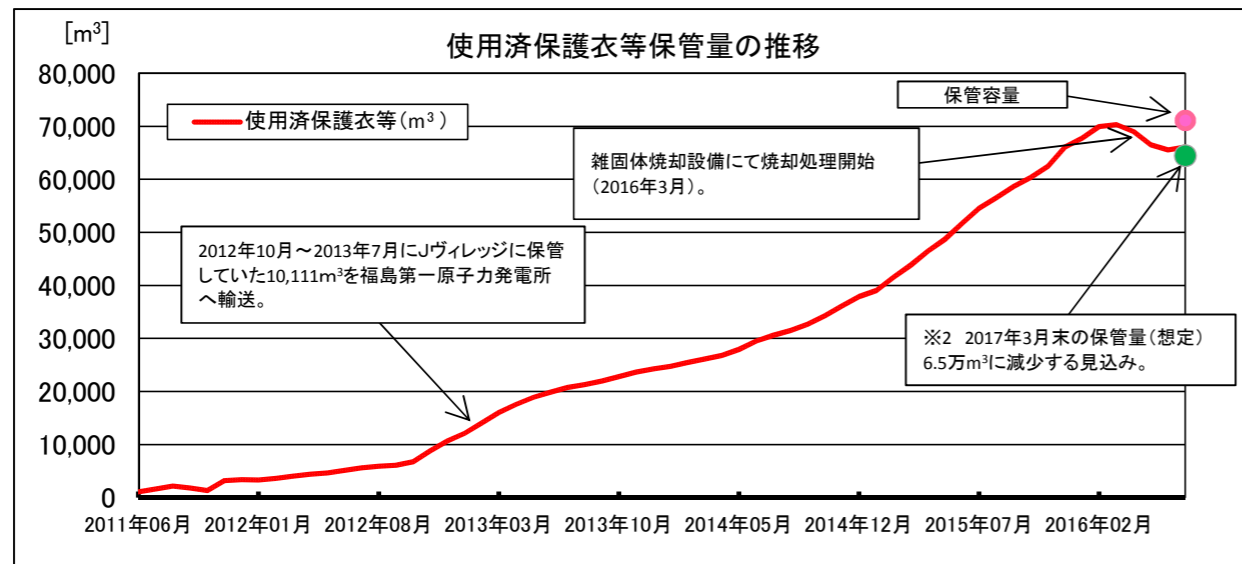
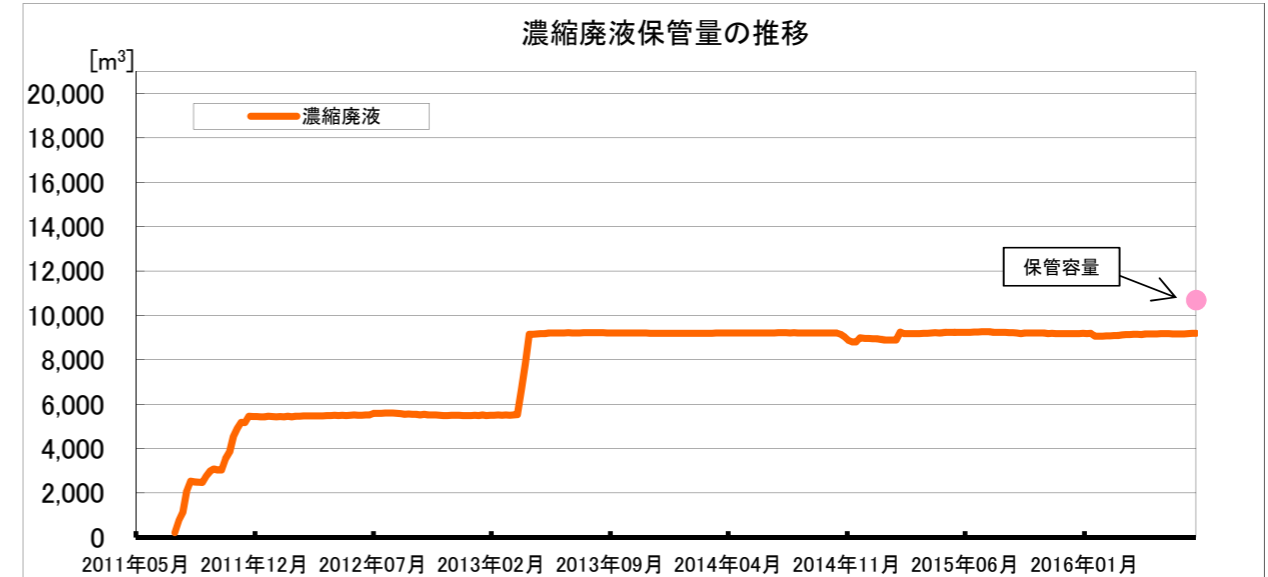
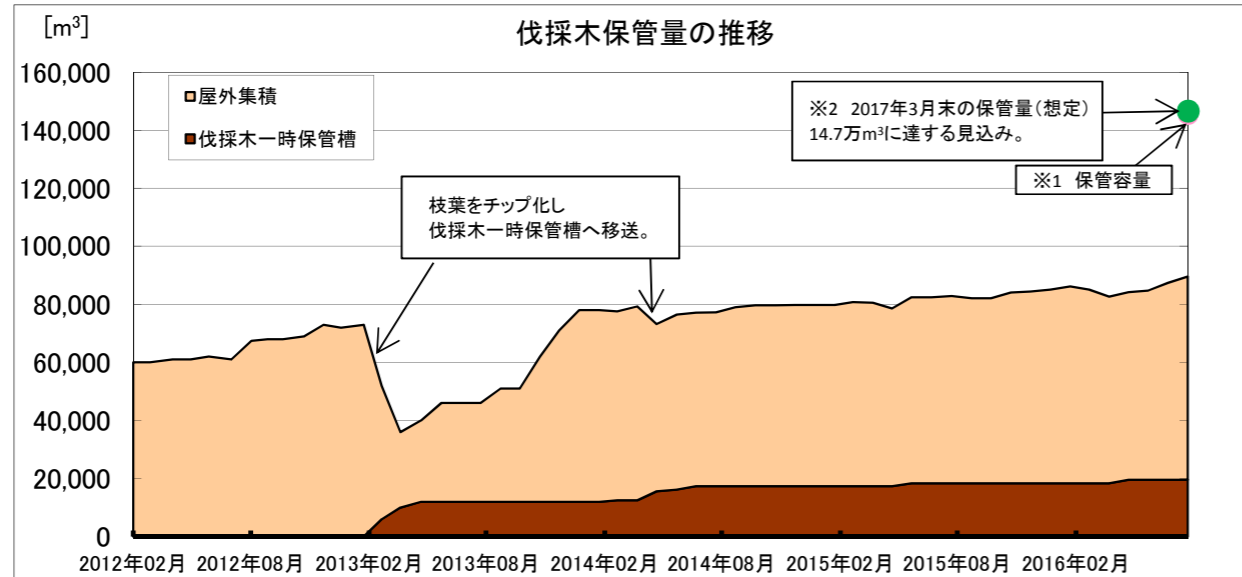
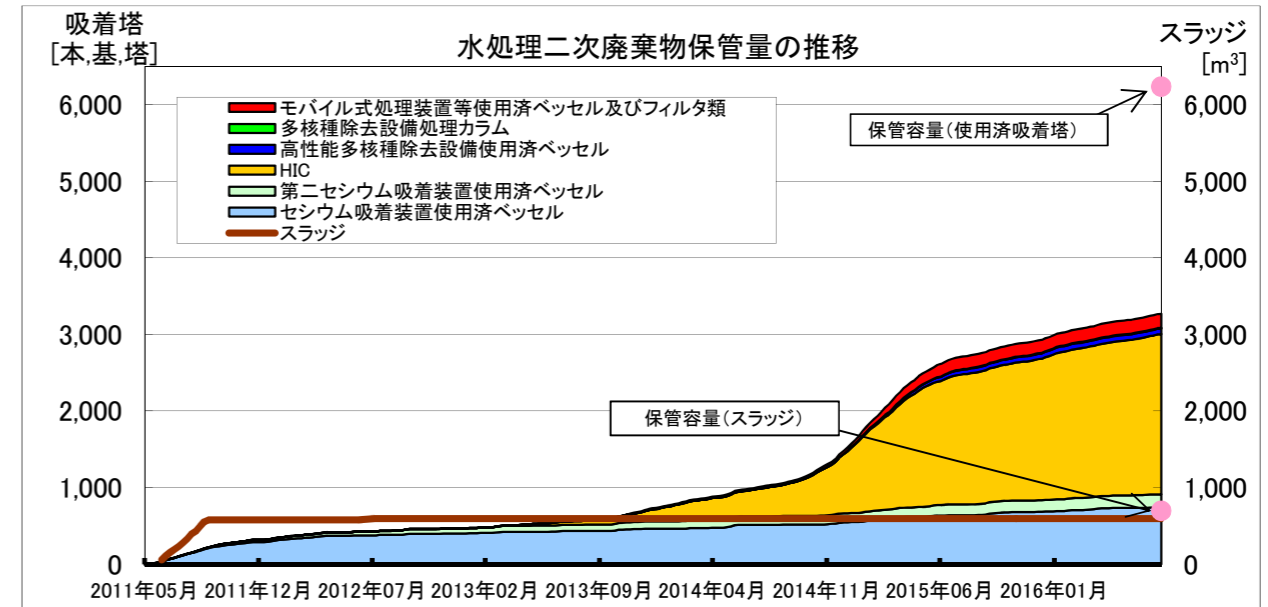
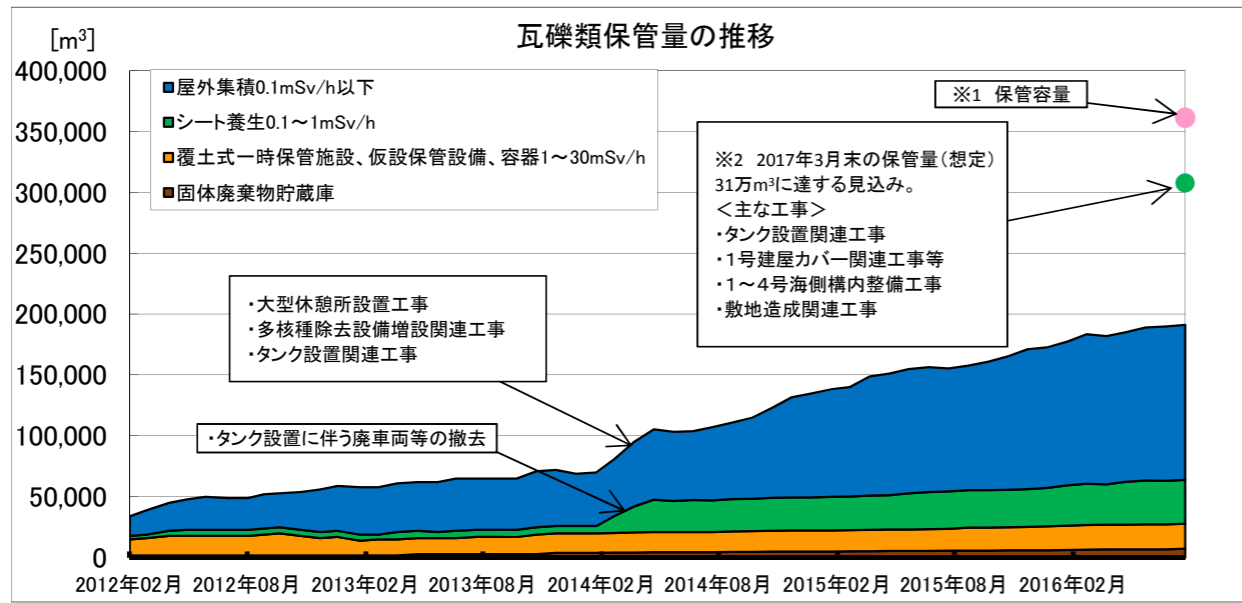


※1 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。
 ※2 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは100m³未満の増減を示す。
 ※3 主な変動理由: ①焼却対象物の受入 ②フェーシング工事 ③タンク設置関連工事 ④破碎コンクリートの再利用 ⑤ エリア整理
 ⑥1~4号機建屋周辺瓦礫撤去関連工事 ⑦水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)の保管 ⑧敷地造成関連工事 ⑨焼却処理 ⑩使用済保護衣等の受入
 ※4 水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)を含む。

水処理二次廃棄物の管理状況(2016.8.18時点)

分類	保管場所	種類	保管量	前回報告比 (2016.7.21)	保管量/保管容量 (割合)	トピックス	
水処理二次 廃棄物	使用済吸着塔 保管施設	セシウム吸着装置使用済ベッセル	742 本	+4 本	3269 / 6239 (52%)	<ul style="list-style-type: none"> 吸着塔一時保管施設の増容量が認可(2015年12月14日) 	
		第二セシウム吸着装置使用済ベッセル	170 本	+2 本			
		多核種除去設備等保管容器	既設	1,192 基			+19 基
			増設	900 基			+12 基
		高性能多核種除去設備使用済ベッセル	高性能	73 本			0 本
		多核種除去設備処理カラム	既設	9 塔			0 塔
モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類		183 本	0 本				
水処理二次 廃棄物	廃スラッジ 貯蔵施設	廃スラッジ	597 m ³	0 m ³	597 / 700 (85%)	<ul style="list-style-type: none"> 除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 準備が整いつつ、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。 	
		濃縮廃液タンク	濃縮廃液	9,201 m ³	+23 m ³	9201 / 10700 (86%)	<ul style="list-style-type: none"> タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内。(現場パトロール異常なし) H2エリア(9,700m³)の撤去計画が認可。(2015年10月1日) 認可された計画全ての撤去が完了。(2016年7月20日) 保管容量: 11100m³→10700m³ 保管量に「タンク底部~水位計0%の水量(DS)」を含んでいない。(約100m³)

瓦礫類・伐採木・水処理二次廃棄物・濃縮廃液・使用済保護衣等の保管量推移



※1 瓦礫類・伐採木の保管容量は、実施計画(2015年7月17日認可)の保管容量を示す。
 ※2 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の2016年度末の保管量(想定)は、2015年7月の予測値。